



発行：社会福祉法人 児童養護施設 埼玉育児院

〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1

発行責任者：柴山英士 編集：埼玉育児院広報委員会

Tel 049-231-2107

Fax 049-231-2111



## 子どもたちの求めているもの

## 2021 節分フォトグラフ

コロナ禍の中ワクチン接種が始まり、ようやくトンネルの出口の光が見えてきた今日この頃、それでもエッセンシャルワーカーと呼ばれる人たちへの感謝とともにその働きに敬意を表します。

さて、十数年前、私がまだ統括主任の頃、中学2年生の男の子が担当職員に向かって言った言葉「俺は透明人間だ。職員や他の子どもたちの中にあっても、関係ないから透明人間だし、職員たちも一緒にいて俺の存在を目にしている気にかけていない、だから透明人間なんだ」と。ドキッとしました。子どもたちの求めているものに答えられていない。自分の仕事について深く考えさせられました。先日、毎日記録される職員の処遇日誌に中1女児



の職員へ投げかけた言葉をみました。「こんな時ばかり、いつも職員は私たちの事なんか気にかけていないじゃないか！」と怒りをぶつけていました。状況は、陽も暮れかけた夕方、いつの間にか仲間3人と外へ出てしまった女児たちを心配して探し回っていた職員が、女児たちを発見した時に「あなたたちがいなくなってもっとも心配したよ」と声をかけたことに対する返事でした。決して、職員たちが仕事をないがしろにしているわけではありません。何が子どもたちにこんな思いを募らせるのでしょうか。全養協発行「この子を受けとめ、育むために」の中に、私たちの仕事の中心にある『養育』についてこうあります。「児童養護施設における養育とは、一見何気ない日々の営みの中に絶え間なく24時間通して行われている。(中略)ひとつひとつは些細で平凡ともみえるが、それこそ実は自然に考えられた日常生活の積み重ねと安定した継続を通して『養育』がおこなわれている。」この養育の本質的なところは何かでしょうか。それは、その存在を大切にされてこなかった子どもたちに、何気ない日々の営みを積み重ねる中で安心して自分をゆだねられる大人の存在、心の中の大切な人を育ませることではないでしょうか。心理学でいう、愛着の形成と対象の内化への再チャレンジの場が児童養護施設であり、その任を担うのが職員たちです。現在の児童養護施設では、体罰や不適切なかかわり等を行う職員は皆無としたいところなのですが、知識としては理解していてもいざ現場では不適切なかかわりととられかねないことを目撃することもあります。そんな時、不適切なかかわりをする職員自身の親からの養育がどんなものだったのだろうと考えてしまいます。もちろん、一般論ではありますが、ご自分の存在は今の自分となるまでにかかわったすべての人たちから形成されたものであるという自己覚知が必要です。子どもたちの求めているものは、一緒にいて安心と感じられる大人であるかないかだからです。どんな子どもであれ、求めているものはこのことだけです。そんな存在になるよう己をよく知り子どもと一緒に成長していくことが職員には求められているのだと思います。

# 新しいステージに進む

# 子どもたちにもたちに聞きました

勉強と部活の  
両立 ☺

お勉強をがんばりたいです。

友達が増えるのが  
楽しみです。

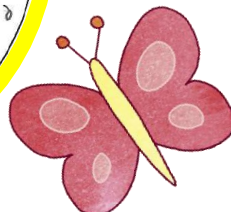
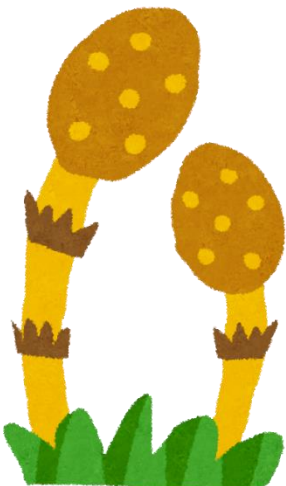
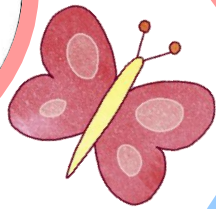
中学の勉強が  
難しそうだけど、  
がんばりたい。  
テストに向けた、勉強  
も、がんばりたい。

## 頑張りたいこと

楽しみなのは、  
中学での部活。  
部活をがんばります  
ので、おうえんおねがい  
します。サッカーおぼす。

1. 他校の人と来  
る事
2. 柔道が体育でやること

新しい仲間と  
遊んだり勉強をスポーツ  
をがんばりたい。  
みんながせい。  
行事などがたのしみです。



## 楽しみなこと

# 埼玉育児院 職員チーム紹介 第4回

# 調理部



育児院は、全児童を全職員で支援する大きな一つのチームですが、お家やそれぞれの部署単位は小さな職員チームになっています。

育児院は、食堂の大きな厨房で調理したご飯を食缶でそれぞれのお家に運び、家の中で配膳します。その大きな厨房で育児院の子どもたち・職員たちの胃袋をがっちり掴んでいるのが現在 3 人の調理部メンバーです。みんなから「食堂さん」と呼ばれています。薄味でも、おいしい味付けは、まるで魔法のようです。

“食堂さん”は、いつも笑顔(o^-^o)  
いつも元気な おばさんチーム!!

仕事はまじめに、手早くおいしい皆勤賞  
のパワーウーマン!!

みんなの健康と笑顔のために、愛とパワ  
ーをプラスして、おいしくてあったか~い  
気持ちになれるご飯にしたい、と楽しみな  
がら作っています。

調理部主任: 松岡



“まっちゃん”と呼ばれて??年。雰囲気作りを大切にしてい  
ます。言葉を交わす、挨拶するって大切です。

キモチもほぐれたら、あとはあったかいご飯を出すだけ。苦  
手な物でも「おいしくな~れ」のおまじないで、調理場から  
『食べてほしい!!』と念じています。

育児院の自慢は、野菜たっぷり季節が  
わかるごはん。旬が満載です。お腹を減らして  
食堂に入ってくる時のみんなの笑顔が  
大好きです。 松岡

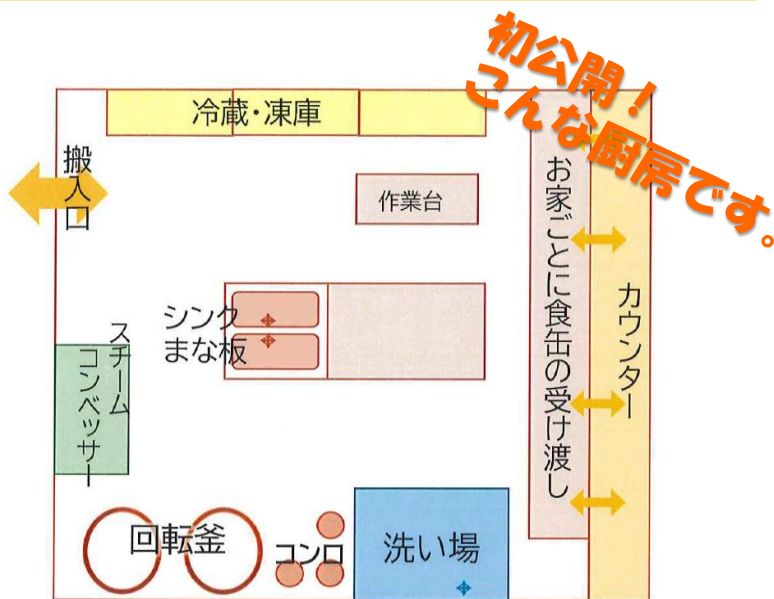


調理部の野口です。育児院にお世話になり、早 2 年  
が過ぎました。

担当は、主に「朝食」と「おやつ」です。おやつは特に  
子どもたちに楽しいひと時を過ごしてもらえれば…  
と思い、子どもたち一人ひとりの笑顔を思い浮かべ  
ながら作っています。



コロナで今は、子どもたちに会え  
ませんが、心を込めて、美味しい「食  
事」と「おやつ」を作っていきたいと  
思います。先日、子どもた  
ちから温かいお手紙を頂きました。  
とても励みになりました。



ご飯だけでなく、  
食に関する  
楽しい掲示物も  
手作りです。

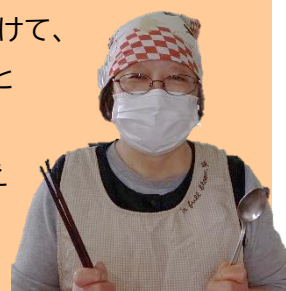


育児院に勤務して、丸 13 年になる調理部の齋藤です。

食べ物の好き嫌いがなくなんでもおいしくいただき  
ます。食べ物を残すことが苦手なので、体重が……。

今年は自分にちょっとお金をかけて、  
まだまだ働ける体づくりをしよう  
と思っています。

今は、子どもたちとなかなか会え  
ませんが、ご飯をたくさん食べて、  
元気に過ごしてほしいです。



# 卒院 おめでとう

今年度、3人の子どもが埼玉育児院を卒院します。  
子どもたちから、1番の思い出や今後の思いと職員からのメッセージを  
もらいました。  
たくさんの思い出を胸に、羽ばたいてください！！

卒院してから、お金の管理  
や自炊など"育児院で自分"  
やっていたこともか"ん  
ほ"りたいと思います。



卒院おめでとうございます  
一緒に過ごした日々、思い出は宝物です。  
これから先、色々な人に出会い、色々なことを経験して  
大人になっていく未来がどこも楽しみます。  
楽しいこと、嬉しいことはもちろん、大変なことや辛いこと  
もあるかと思っています。そんな時はいつでも頼ってください。  
味方になってくれる人が沢山います。相談して下さい。  
ずっとずっと応援しています。何事も楽しんで下さい！！  
富澤

卒業 & 就職  
おめでとう!!  
仕事、自分のやりたいことと  
両立させながら、一つづつ  
夢に向かって進んで下さい  
松本ホーム職員一同

楽しかったことは、  
おたのしめかい、  
ダンス二回にリキで"行ったこと、  
うれしかったことは、  
二本と出会えたこと、  
これから頑張りたいことは、  
お金をためて、  
早く一人暮らしをすること、



卒業・卒院  
おめでとう  
育児院に入所して  
楽しかった事、嬉しかった事、  
辛い事や嫌だった事も  
沢山あったと思います。私は、  
あなたに感謝して、笑った事が  
多かったように感じます!!  
学生生活を終え、4月からは  
社会人ですね。念願だった  
やりたい仕事につけたこと、本当に  
嬉しく思っています。これからも  
優しい気持ちで忘れずに!!  
ずっと見守り、応援しています。fight!!  
Aibonk  
二本



3名、ともに就職  
です。コロナ禍の就  
活を頑張りました。  
不安もたくさん  
あると思いますが、  
充実した生活を送  
ることができるよ  
う、職員一同願っ  
ています。  
令和3年



## 第5回「基幹主任」

### 新田×戸川×松浦

今回は、埼玉育児院の要、基幹主任を紹介します。

施設の柱として、直接子どもの生活に入ることは少ないですが、新任・若手から主任職員たちと丁寧なコミュニケーションを日常的に図り、職員を支えています。基幹主任の3人に、人材育成について聞きました。

まずは、「子どもを養育する」。言葉ではとても簡単な印象ですが、実際の業務内容について伺いました。

施設で、「子どもを養育する」には子どもと関わるだけでなく、それ以外の時間もとても大事な仕事であると3人は口を揃えます。お家のお母さんのような家事に加え、PCに向かう等事務作業が2割以上、職員同士の申し送りや会議など職員連携業務も2割近く、児童相談所・学校・保護者との連絡や調整を行う外部対応業務も1割以上を占めます。職員には様々なスキルが必要となります。

子どもたちへの対応も毎日試行錯誤の連続です。悩みすぎて、勤務が終わっても子どものことが頭から離れないこともあります。心配が尽きません。

気苦労やストレスが多いと言われる児童養護施設の職員ですが、ここで感じる大きなやりがいは、他のお仕事では味わえないものがあります。

子どものいい所などを新たに発見した時や日々の小さな成長を感じた



時は、率直にとてもうれしいものがあります。思っていた以上に成長した姿を見た時や退所してからも連絡が来る時は、職員を続けていてよかったなあと実感します。その子の人生に深く関わり、退所して大人になった後も職員としての関係を継続して見守り続けられることが一番のやりがいです。

しかしながら、こうしたやりがいを実感するには、ある程度の期間が必要で、新任や若手職員が同じようなやりがいを感じることは困難です。

特にこのやりがいを感じ難い新任・若手職員をどう支えているのか。

### 次につなげられるよう フォローしています。

**戸川** H16 改善直後の何もわからず手探りでやっていた頃から比べると力をつけた職員は多くなっている。自分たちが培ったノウハウを伝えるようにしている。

**新田** 若手職員には日常での失敗や上手くいかないことは想定内にしておいてもらう。それを次に活かせるような振り返り方、行動に繋がるようなアドバイスを心掛けている。『ポジティブ思考。どうせやるなら楽しく!!』をモットーに。

**松浦** その人の強みを引き出せるように、自信につながるような経験になるように。私もまだまだ人材育成の新人です。日々勉強させてもらっています。

常に緊張し戸惑いながら勤務している若手職員を優しく見守っています。

ある新任職員のひとり立ちの日のピソードです。

その日、グループホームに配属された新人職員は、1・2ヵ月経過し、初めて一人で生活の運営を任されることになりました。グループホームは本院から離れた場所にある普通の一軒のお家です。子どもたちのご飯は調理員ではなく、お家の職員が作ります。そのひとり立ち初日の朝食作りから、口も手も出さず松浦が陰から見守っていました。

忙しく調理を進める中、冷蔵庫から開けっ放しを警告する『ピーピー』の音が鳴りはじめました。しばらく鳴り続け、やっと冷蔵庫に向かい食材を新たに取出し、調理を続けます。…美味しい朝食が無事完成しました。

そして、その日の振り返りの時間。松浦が『冷蔵庫の警告音にはもっと敏感に反応しよう。食品が痛んじゃうよ。』と伝えると、新任さんは「いつですか？気づきませんでした。すみません。」 大笑い。

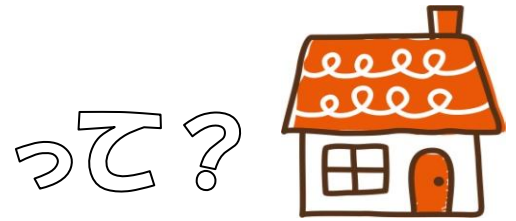
落ち着いた印象の新任職員でしたが、初めて子どもの生活を任された新任さんの緊張感を改めて感じた出来事でした。その職員さんは、今ではもう立派な中堅となり新人育成にあたっています。自分が伝えたことをしっかり吸収し、その後輩へと受け継いでいる姿も嬉しく感じます。

子どもと生活を共にする職員の心と体が健康で働き続けられることが何よりも大切です。職員一人一人の些細な会話や雰囲気の変化を気づき、その都度声をかけるようにしています。

基幹主任の3人にとって、職員が成長していくことも、やりがいの1つかもしれません。

# グループホーム

## 地域小規模児童養護施設



埼玉育児院には、地域小規模児童養護施設と言われるグループホームが2カ所あります。  
『松本ホーム』と『原田ホーム』です。育児院のグループホームの様子をお伝えします。

厚生労働省 児童養護施設運営指針より

子どもの生活の場をできるだけ家庭あるいは家庭的な環境で養育する「家庭的養護」と、個々の子どもの育みを丁寧にきめ細かく進めていく「個別化」が必要である。

できる限り小規模で家庭的な養育環境(小規模グループケア・グループホーム)の形態に変えていくことが必要である。



## グループホームの行事食お正月編



ケアワーカーが、すべての調理も担うグループホーム。  
季節を感じながら子どもたちと行事食を楽しんでいます。

松本ホーム、原田ホームならではのこだわり、それぞれ工夫している所、自慢出来る所を紹介します！！

### 松本ホーム



“松本ホームのお雑煮”  
だしを効かした、関東風(?)です。

昨年まではお雑煮は元旦に勤務する職員それぞれの味で作っていましたが、今年から<松本のお雑煮レシピ>を作り、味を統一することにしました。子どもたちが退所した時に「松本のお雑煮と言えばこの味」と思い出してもらったり、聞かれた時に教えられるようにという思いがあります。

おせちは、縁起物なので少しでも食べて欲しい気持ちがあり沢山種類のあるものを選んでいきます。



行事食は毎月の会議でその日の献立を必ず確認しています。今は男の子しかいないホームですが3月3日はひな祭りなので、ちらし寿司と蛤のお吸い物です。

### 原田ホーム



2021年 初の手作り  
“原田ホームのおせち”です。

原田ホームでは今年は初めて手作りおせちに挑戦しました。4人の職員が数品ずつ作り、お重に詰めました。おせち一つ一つにも意味が込められているので絵にして子どもたちにも説明しました。みんな興味を持ってくれたのと、職員が作ったからと食べてくれる姿もありました。



2月2日の節分は、恵方巻を手作りして南南東を向いて食べました。豆も撒いて、歳の数だけ食べました。

毎日の3食をケアワーカーが調理することは、本院にはないGHの大きな特徴でもあり、配属された職員の重大任務だったりします。初めは慣れない、不得意な職員も今では行事や季節を楽しめるまでになりました。日々の積み重ねの成果ですね。

# 新聞から No.20



児童福祉や社会的養護、子どもの養育に関する新聞記事に対し、育児院の状況や課題などをお伝えします。

この【新聞から】の連載がスタートし、いつの間にか5年が経ちました。新聞から取り上げた話題も19を数えます。

## 《新聞から ヒストリー》

1. 第三者評価「実践につなげて」
2. 施設退所者の就学を支える
3. アナログ的業務のICT化
4. 児童福祉法改正 子どもの権利の明文化
5. 2分の1成人式
6. 施設養育から里親養育へ転換
7. 外泊中の無理心中
8. 子どもの視力低下
9. 学校の性教育
10. 児童相談所職員の増員
11. 川越市 児童虐待防止ネットワーク構築
12. 児童虐待保護判断にAI
13. 子どもの権利条約 もっと知って
14. 里親制度を学ぼう
15. 施設入所児インフル予防接種受けられず 親の同意
16. グループホーム職員配置6対6へ
17. 新型コロナ特別チーム
18. 新型コロナ児童分野に慰労金
19. 公認サントラ来日見送り

この5年の間、痛ましい児童虐待事件がいくつもありました。その都度、児童福祉法の改正や児童相談所改革が必要とされましたが、児童虐待そのものを未然に防ぐ、すべての子どもの安心で安全な家庭生活を保障するための具体的な議論に至らないまま、平成が終わり令和になった途端新型コロナに飲み込まれてしまいました。

その中、改正された児童福祉法。それを基にした「新しい社会的養育ビジョン」が厚労省から発表されました。そのビジョンは、施設の大きな集団よりも里親家庭で生活できる児童が増えるように設計されています。

そして児童養護施設は、子どもたちの生活を小規模で構成する為グループホームなどを増やし、大きい生活の集団人数を減少させていくように。

また、大きな本体施設はそのグループホームや里親さん、さらには地域などの子育て支援拠点を担っていくように、求められています。いわゆる、児童養護施設の高機能化・多機能化が必要とされています。

子どもたち・児童養護施設を取り巻く環境は大きな変化の真ただ中です。

5年前から嬉しい変化もありました。施設を巣立っていく子どもたちへの支援は非常に手厚くなりました。

令和2年4月より【高等教育の就学支援新制度】が始まりました。この制度の概要として『①授業料・入学金の免除または減額（授業料等減免）②給付型奨学金支給の2つの支援により、大学や専門学校などで安心して学べる制度（厚生労働省）』となっています。

平成28年55号に掲載した“施設退所者の就学を支える”という記事から考えてみたいと思います。

その時の記事では、進学へのネックとなる一つの要因が『金銭面』でした。進学を希望すると同時に、学費や生活費を含め必要な出費とそれを捻出するためのアルバイト等が必要であるということと一緒に考えなければならず、どうしても進学には慎重になってしまうこと。“進学しても学業を継続できず、卒業できない”という現状も金銭面がネックにある。という内容でした。

実際、「こんなにお金がかかるなら就職したほうがいい。お金入るし。」と、進学を諦めるという状況がありました。

この【高等教育の就学支援信制度】は、施設から進学を希望する児童を手厚くバックアップする制度となっています。

しかしいくらハード面が整って進学者が増えたとしても、いちばん大切なことは“気持ち”かなと思います。多感な10代です。箸が転んでもおかしくて、ガラスのハートの年代です。相談できる相手、愚痴を言える相手、助けを求められる相手など、落ち込んで下降した時に気持ちをリカバリーさせてくれるような存在が絶対に必要です。この考えは5年前から変わっておらず、ハード面は制度で解消できても、ソフト面は5年経っても同じように課題のままでした。

施設を退所し就労や進学をした児童へのアフターケアは児童養護施設に求められていることの一つです。埼玉育児院でもアフターケアに課題が多く、重要性は叫ばれています。

人とつながることが難しいコロナ禍だからこそ、施設は退所した元児童と、さらに積極的にもっとつながる努力が必要だと痛感しています。

そして、施設で生活している時から、その子の未来を考え想像しながら、継続した支援を行っていくことが先々につながっていくのではないかと思います。



# 日誌

## 12月

1日: 経営者会議オンライン/聖徳大学実習生 A ブロック~  
3日: 院内主任研修/研修体系検討会議/人材確保委員会(施設長)/外壁塗装①  
4日: 外壁塗装②/松本ホーム部署別会議  
7日: 外壁塗装③/立教大学実習生 D ブロック~19日  
9日: AB ブロック部署別・合同会議  
13日: 霞中 2 修学旅行~15  
15日: 埼玉研新任研修  
16日: Cブロック・原田 H・松本 H・ひまわり部署別・合同会議  
18日: 総務委員会(施設長)  
20日: 山伝年末大掃除(施設長)  
22日: 施設長会オンライン  
23日: 臨時職員会議/委員会/主任会・研修体系検討・運営会議  
24日: 基幹主任・合同会議  
25日: Xmas 会

## 1月

2日: C・D ブロック初詣  
3日: A ブロック初詣  
6日: A・B ブロック部署別・研修体系検討会議  
7日: 緊急事態宣言発令/小学校との連絡会(施設長・基幹)  
13日: C ブロック・ひまわり・原田ホーム部署別会議/合同会議  
14日: D ブロック部署別会議  
18日: 総務委員会(施設長)  
20日: 委員会/主任・合同・運営会議  
22日: 施設長会オンライン  
25日: A ブロック部署別会議

26日: B ブロック部署月会議  
27日: 苦情受付連絡会/C ブロック・原田ホーム部署別会議  
29日: 施設長会オンライン  
30日: 歯科検診

## 2月

1日: 人材確保委員会(施設長)  
3日: B ブロック・原田ホーム部署別会議/合同会議  
4日: 院内新任研修⑧/A ブロック部署別会議  
5日: D ブロック部署別会議/川越市子ども子育て会議(施設長)  
6日: 評価面接/経営者会議  
9日: ひまわり部署別会議  
10日: 原田ホーム部署別・C ブロック学習会 & 部署別・合同会議  
12日: 埼玉協養成校との意見交換会(施設長)  
13日: 内科検診  
15日: 総務委員会(施設長)  
16日: 評価面接  
17日: 委員会/主任・合同・運営会議/山村学園短大実習生 A ブロック~27日  
18日: 子どもの虐待防止セミナーオンライン研修/基幹主任会議  
19日: 子ども・施設サポート委員会報告(施設長)オンライン  
20日: 山伝代議員会(施設長)/県里親会しっかりサポート事業未委託里親研修(粟津)  
22日: 埼玉研新任研修/東洋大学実習生 B ブロック~3/3  
24日: C ブロック部署別・合同会議  
26日: 施設長会オンライン/里専会オンライン(粟津)  
28日: ブロック専門職等総括提出×切/川口短大実習生 C ブロック~3/12



いつもありがとうございます 12/1~2/28



※コロナ禍におきまして、感染防止などの観点から大変恐縮ながら、ご寄付・ボランティアを多数お断りさせていただきました。

《寄付者》まいまい、株式会社幸友商事、神崎博之、株式会社プレナス、毎日新聞社秘書室、毎日新聞社総務部、埼玉県食鳥組合、Oak キャピタル株式会社竹井博康、ヤクルトグループ、日本スタンゲ、中俣一夫、日本鏡餅組合、長谷川裕、矢作隆、齋藤明、山本修二/合資会社オザ、ゴルフドゥ、Doing、三井住友海上火災保険埼玉西支店、友野由希子、延命寺幡宥栄、Patagonia、鈴廣かまぼこ株式会社、坂本道昭、村田友子、池原幹子、内藤彰信、三和商事(株)、アリックス株式会社、森敏博、埼玉県書店商業組合、財団法人日本出版クラブ、株式会社ハーベス、三菱 UFJ、門司一徹、公益財団法人毎日新聞東京社会事業団、株式会社カーブスジャパンフードドライブ事務局、株式会社チュチュアンナ 1%クラブ、株式会社西武ライオンズ、元山猛、関本賢、霞ヶ関カンツリー倶楽部、有限会社アイワプランニング代表取締役藤田博子、埼玉県更生保護女子連盟、日本キリスト教団川越協会、株式会社イディオム増田洋一、日本スタンゲ株式会社、アコム株式会社広報 CSR 部、平岩栄一

《学習ボランティア》神山裕一、小室敏夫、川内さつき

順不同・敬省略